

Portfolio

Shibata Rikito



Profile

Shibata Rikito

柴田 力

2004年(平成16年) 11月 9日 生まれ



Tools



Skill

CG クリエイター検定ベーシック

Hobby

ライブに行くこと
(R&Bやサブカル系)

サイクリング

カラオケ

3DCG

- 稲荷伏見の裏道
- Honda Super Cub 90DX
- D A R K 【グループ制作】
- 黄昏れ
- 闇を駆け抜ける灯り



稲荷伏見の裏道



制作期間 270時間

(2023/12/7~2024/3/17)

コンセプト 稲荷伏見大社

去年の9月に訪れた京都にある稲荷伏見大社の裏道の一画を作りました。

まるでジブリ映画の世界に入り込んでしまったと錯覚してしまうような忘れられない体験だったので、現地で撮ったリファレンスを参考にしました。



現地のリファレンス

別アングル



太陽の暖かい日差しが枝を潜り抜けて、山道の脇には放置されたバイクがありその先にまるで導いてるかのように鳥居があったりと、実際にこの景色を見た時の感動を思い出しながらストーリーを想像して作りました。

リファレンス

稲荷伏見 鳥居



田舎の電柱



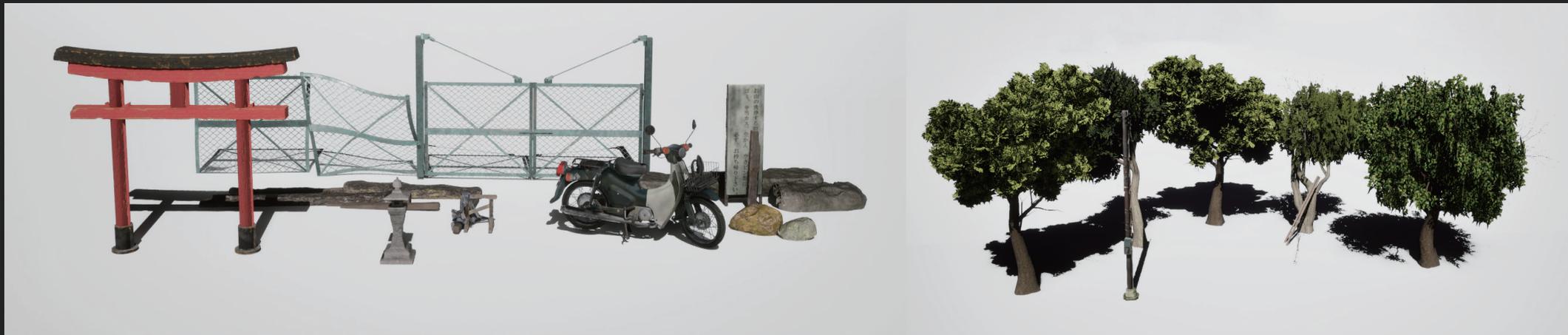
石段



フェンス

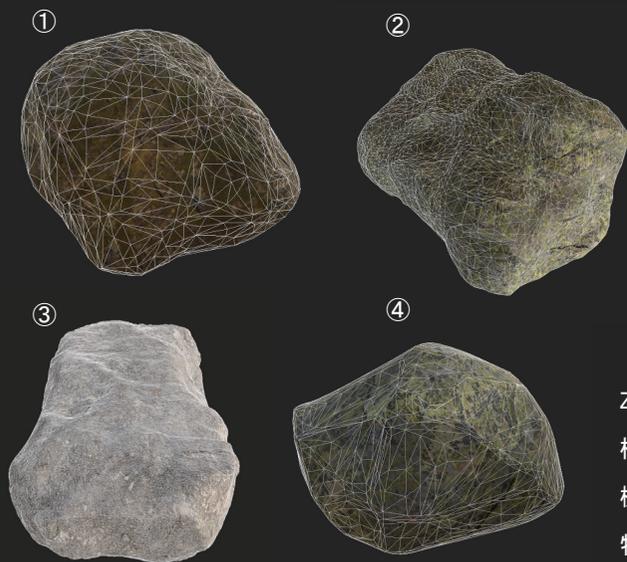


アセット



配置

アセット作成は稲荷伏見の現地のリファレンスを元に細部まで忠実にモデルを再現しようと思ひ時間をかけました。また物量も意識しました。木は Speed tree を使用し様々なパターンをリファレンスから再現しました。山道の岩や石ころは自作した物以外にも Megascans を使用しましたが特に大きな岩は何パターンか作り、シーンに合わせて配置しました。



Zbrush を使用しスカルプトで石の形状を作成しました。

構図によって手前にある岩などは細かいメッシュ数で作り、石ころのような目立たないものは Zbrush 内のデシメーションマスターやリメッシュ機能を活用し、軽量化しました。

特に山道に沿った岩はごつごつとした荒れた感じにしたかったのでメッシュ数を増やし細かいディテールにして使用しました。

汚れ方のこだわり

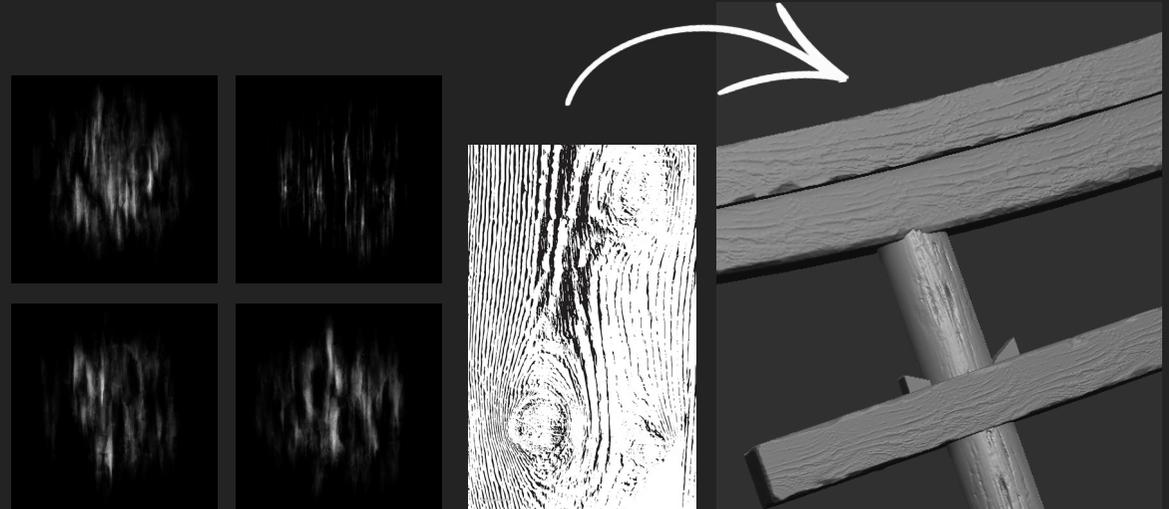


ダストがかかった表現や部分的に汚れているもの、木の角の塗装がはがれているなどその材質によって汚れ方を研究しました。Substance Painterにある既存のプリセットを使うと現実味がなくなってしまうため、ジェネレーター機能やブラシを追加して統一感をなくしました。

一番難しかったものは、山道においてあったビニールカバーのしわに沿った汚れです。しわは Marvelous Designer で付けてそのしわに沿って Substance Painter のジェネレーター機能を使用し汚れを追加しました。更にその上からマスクをかけてペイントツールで細かい部分の調整を行いました。

Z-brush のアルファ

ブラシに木目に適した素材があったため、木のモデルを作る際にアルファを使用しました。細かいディティールをつけた際に、メッシュ数が多くなってしまうため最終工程としてデシメーションマスターで軽量化しました。

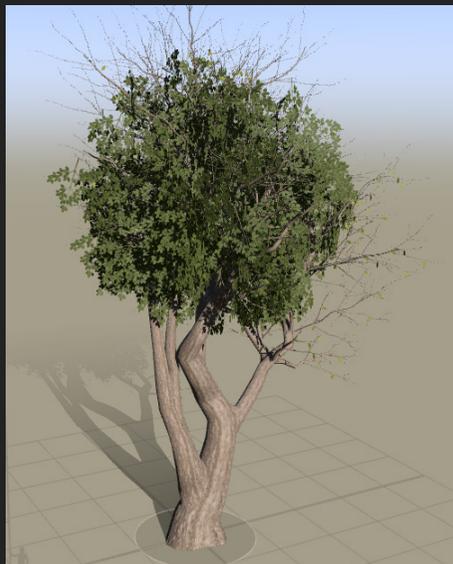


Spend tree 用いた植木作成

現地のリファレンスをもとに特殊な形状を生かして、シーンに合わせて配置を行いました。
特殊な形状の木を入れることで全体を通してみたときにリピート感をなくす工夫をしました。



リファレンス



作成した木



配置図

葉のテクスチャ感を無くす

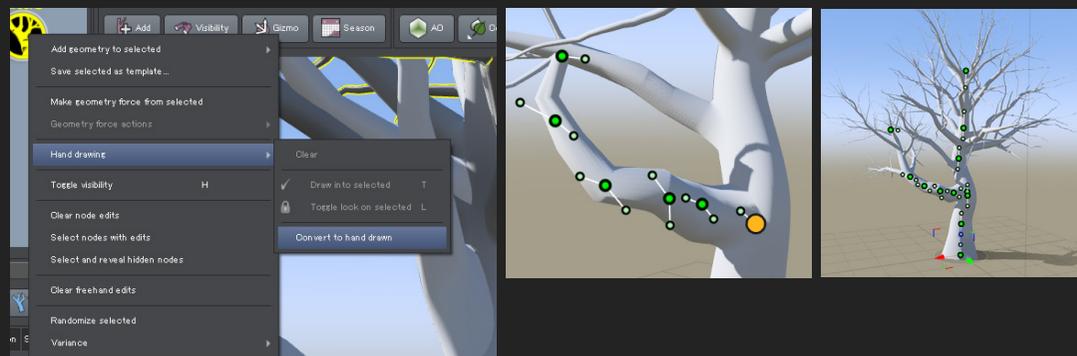
葉一枚一枚の密度によって遠くから見た際に印象が変わることに気が付いたため、
よりリアルな葉の密度を追求しました。



Before

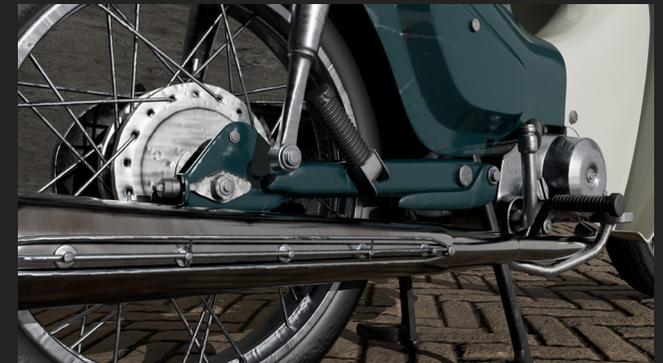


After



Spend tree 内の「Hand drawing」という機能を使うことでハンドルが表示され針金のように自在に操作することができるため、特殊な形を作る際に活用しました。

Honda Super Cub 90DX



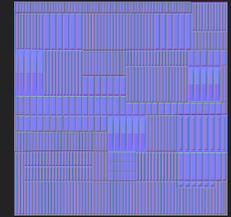
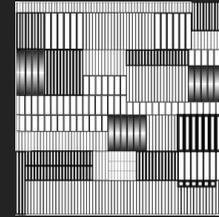
制作期間 90時間

(2023/12/7~2024/1/15)

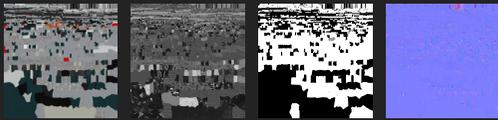
1998年式の古いモデルを背景作品のアセット用として制作を行いました。

リファレンスのバイクがこの形状だったこともあり、最近のカブと比べるとホイールの細部が違う形状のためネットなどからリファレンスを集め参考にしました。

特にハンドルの角度が若干ずれているとバランスが悪く見えるためハンドルの角度に気をつけました。



ヘッドライトの凹凸を作る際には、Illustrator で一から作成した四角いマップからノーマルマップに変換して凹凸を表現しました。



汚れ方の追求

山道という設定のため現地で撮ったリファレンスをもとに汚れ方を追求しました。

土や泥でどの部分が汚れたのか、リファレンスからディテールを見比べ調整しました。



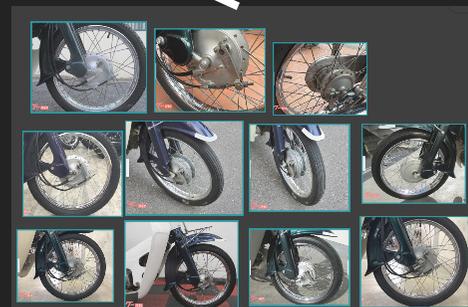
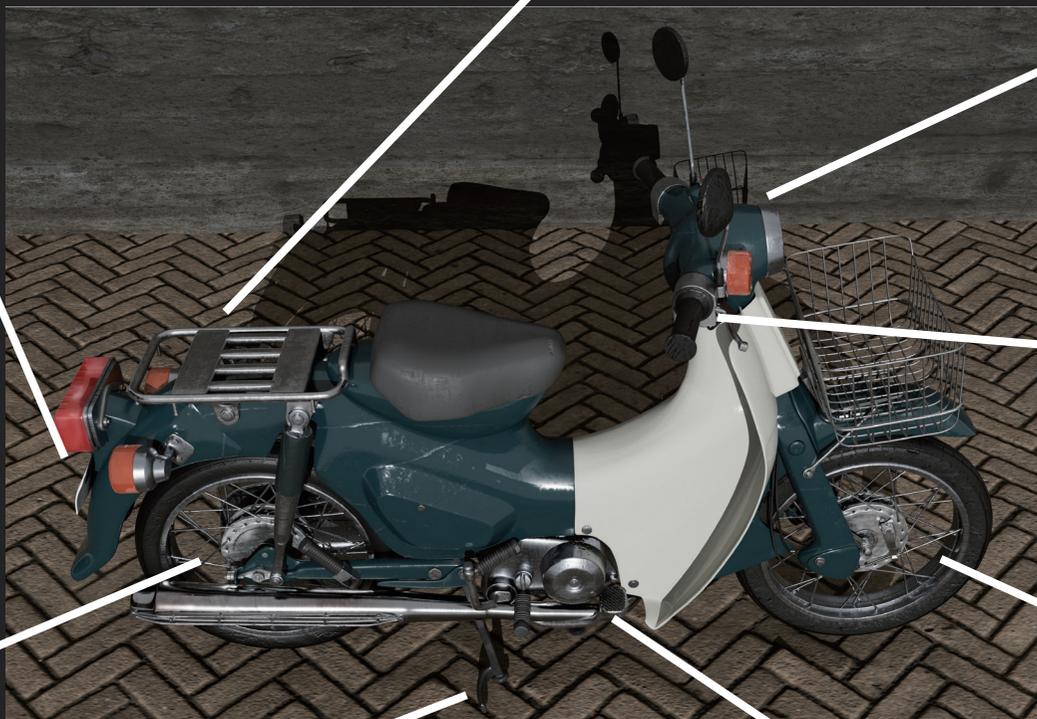
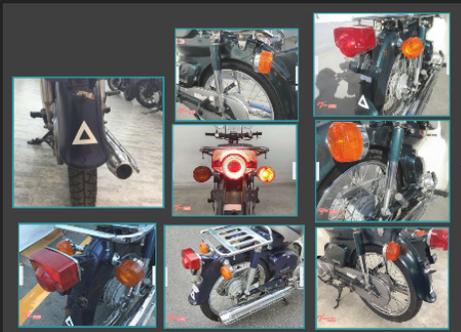
汚す前



汚した後



リファレンス





DARK



制作期間 2か月

(2023/10/16~2023/12/20)

NETFLIX のオリジナルドラマ「DARK」の再現映像を友人と二人で作りました。
私は出演、背景モデリングを行い、友人がコンポジット、エフェクトを担当しました。



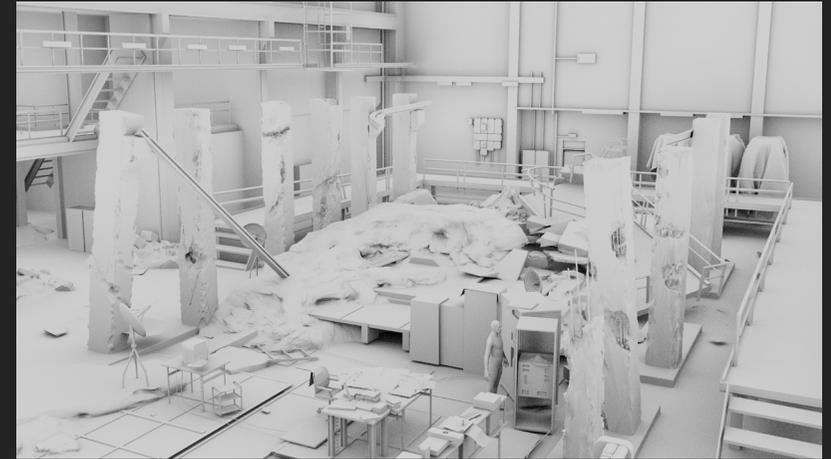
CUT SCENE



BG Model



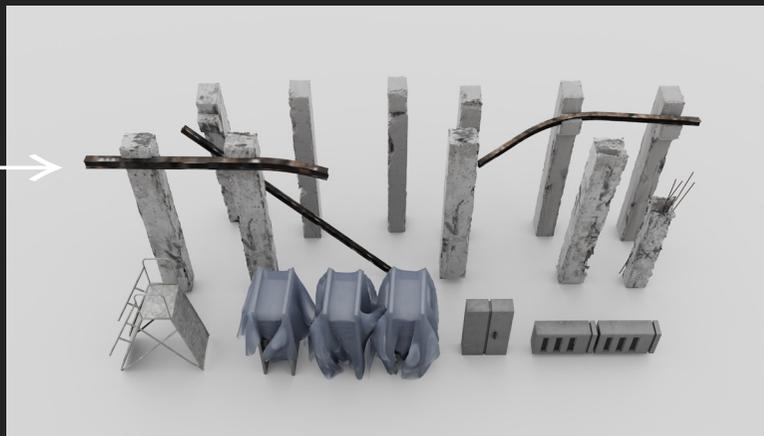
暗いシーンのライティングの調節はとても難しく、また本家の青みのかかったライティングの世界観を忠実に再現したかったため Photoshop のフィルターを使い色味を調整しました。



リファレンス

アセット

Zbrush で削った
モデル





制作期間 120時間

(2023/8/3~2023/9/14)

1年生の夏休みに制作した作品になります。
Mayaを覚え始めて間もなかったころ、
作りたい表現に挑戦しようと思い制作しました。

もともと汚れた建物が好きだったため、
フォトリアルな表現に興味がありました。
リファレンスを実際に撮りに行ったりして、
どんな場所でどんな人がそこで何をしていたのかが
伝わるような作品制作を心がけるようになりました。



コンセプト 老舗スーパーの屋上駐車場

郊外にある創業60年続いた古馴染みの老舗スーパーがとうとう閉店してしまうというテーマで制作しました。
周りがどんどん開拓されていく中で根を張って踏ん張り続けてきたというメッセージ性とお年寄りが多いこの土地で唯一頼られてきたこの場所がなくなってしまうという切なさを屋上から見える最後の景色に黄昏れている主人公目線で描きました。
看板やポスターのデザインはIllustratorで作成しました。

ポスター

看板



別アングル



汚れ方の工夫

建物に蓄積した汚れは、部分的に汚れていたりメリハリがあることが分かり上のほうが雨垂れて黒ずんでいる表現や、またパイプの関節部分も水漏れの影響で茶色く錆びていたりリファレンスから汚れ方を研究しました。老舗スーパーの屋上というテーマだったこともあり老舗感を出すために試行錯誤繰り返しました。また壁に沿って這っているパイプラインも密集したところに部分的な汚しを入れました。



参考にした汚れ方



パイプ管の漏れ

ライティング

テーマ設定が夕暮れ時ということもあり、西陽を表現したかったため影が伸びているように低い位置からディレクショナルライトを当てることで表現しました。

また老舗スーパーのトレンドマークでもある塔屋看板を目出させるためライティングを意識しました。ブラッシュアップをした際、影の落ち方のメリハリや構図についてアドバイスを頂いたため改善しました。



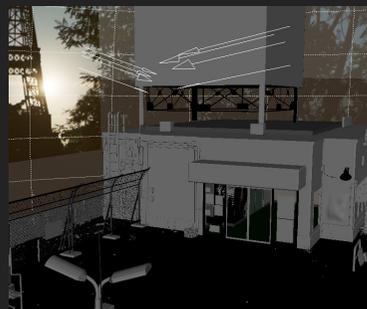
改善前



改善後



環境光に Dome Light を使用し太陽の光（キーライト）に方向性ライトを使用し影を一方向に主張しました。



リファレンス

一方向だけでは建物の室内や塔屋看板にうまくライトが行き届かない部分があったため別角度からも照らし調整をしました。そのため室内にうっすら日が落ちているような表現をすることができました。



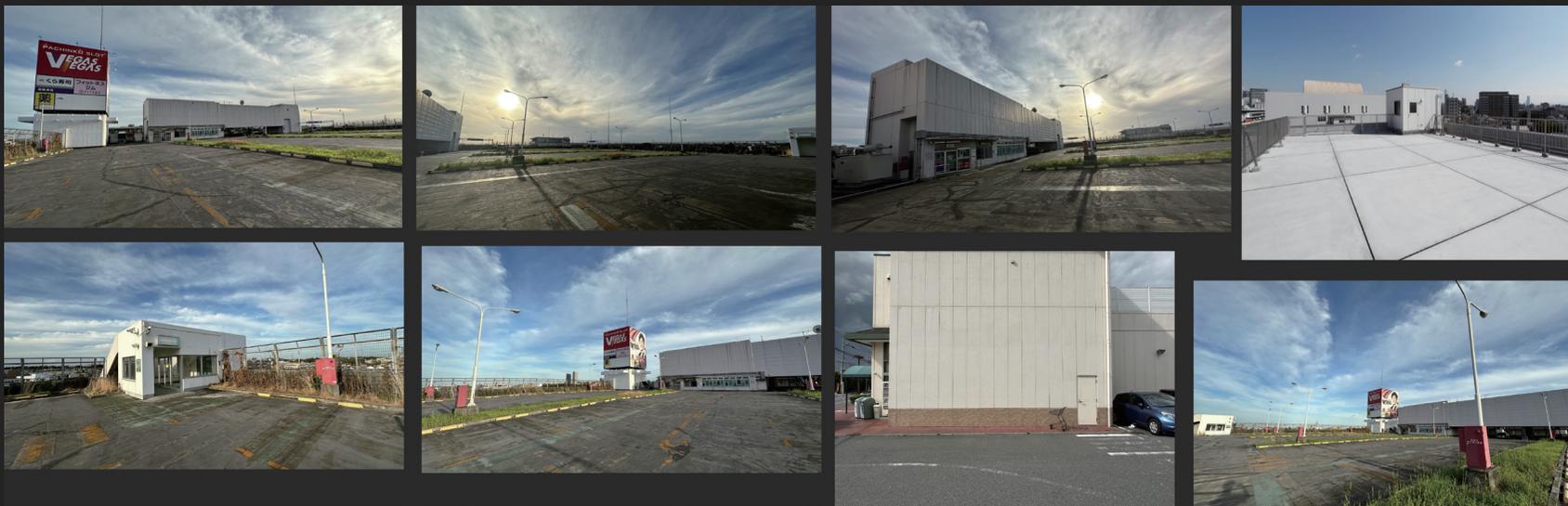
別角度のライトなし



別角度のライトあり

最初に作ったものにはライティングに関して全体的にのっぺりとしたシーンになってしまい夕陽感がなく時間帯もハッキリしないようなライティングだったため、原因を探しました。その結果、影の落ち方に問題があるのではないかと考え修正しました。

リファレンス



近所にたまたまテーマと自分の作りたい世界観と合致したデパートの屋上があったため、配置や屋上から見える景色を参考にしました。特に屋上から空を見上げると雲の形が伸びるように広がっていたため勉強になりました。

アセット

ショッピングカート



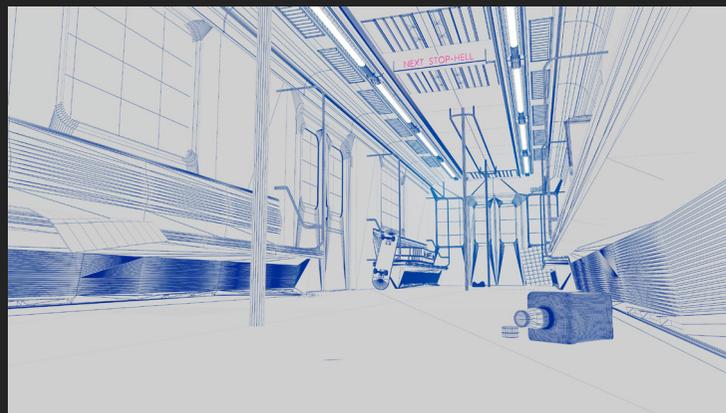
スクーター



買い物かごの剥がし跡



闇を駆け抜ける灯り



制作期間 100時間

(2023/11/10~2023/12/6)

コンセプト 深夜の地下鉄

深夜に走る海外の地下鉄をテーマに制作しました。最初は下の画像を元にホラー要素のある雰囲気を意識しましたが、作っていく中で自分の作りたい世界観が定まってきたため、様々な要素を追加し最終的には車内の蛍光灯とこぼれたウイスキーにフォーカスを当てることにしました。

誰も乗っていない車内の異様な雰囲気と外の暗闇や窓の反射によって生まれた蛍光灯の存在感を意識しこれから何か起こりそうな不穏な感じを演出しました。他にも車内に置いてかれてしまったスケボーやギターケース、倒れこぼれているウイスキーボトルなども配置にこだわりました。



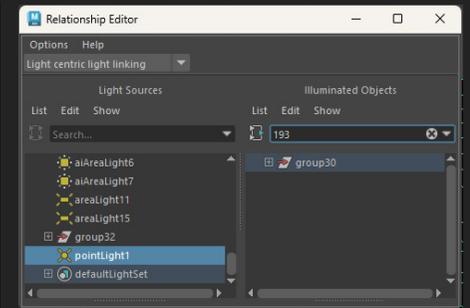
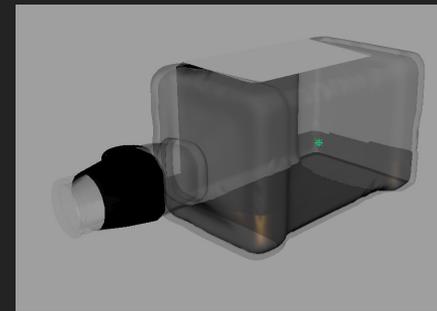
リファレンス

構図

今作は、構図を決めることが一番難しく苦労しました。左はブラッシュアップ前のもので手前にあるウイスキーボトルを目立たせたかったのですが、しっくりきませんでした。そこでブラッシュアップをし全体のシーンを暗くすることにしました。蛍光灯と椅子から生まれたラインを使用し車内の奥行きを感じる、かつウイスキーボトルに目を引く構図に変更しました。



ライティング



Light Centric Light Linking

車内のライティングは全体が青く薄暗い雰囲気にしたかったので青みがかったメッシュライトをキーライトとし、更に電光掲示板を表現したかったので赤く光らせたタイプメッシュライトを使用し二色のライトを基に色味を付けました。また aiAtmosphereVolume を追加し車両の奥側に青いエリアライトを置き空気感を出したほかに、ウイスキーボトルのウイスキーが目立たなかった為、アンビエントライトで瓶内を明るくしライトリンクでコントロールしました。



車内の壁は金属の上に塗装がかかっている表現で、塗装が長年の劣化で剥がれていたり汚す際、落書きなどを入れて治安の悪い空間を演出しました。

椅子もプラスチック製で硬い素材のため、擦れ傷やシミの付け方にこだわりました。

ライティングが全体通して暗めのため金属や窓の反射が一番目立つため、リアルな質感を目指しました。



落書き



Specular

車窓の傷や汚れの表現

車内の窓の表現は外からの光が影響するため反射した柄が目立ちやすくまたポータルライトなどを設置しているため、表現が難しいものでした。

そこでリアリティを出すために Roughness でメリハリが出るよう周りの淵から真ん中にかけてだんだん汚し反射した際にムラがくっきり出るようにしました。またムラの差がくっきりしていないと変化があまり感じられなかったため中心部分は汚れが少なく淵に多くと一度テクスチャを適用して構図やライティングなどの影響に合わせて、絶妙に調整しながら行いました。

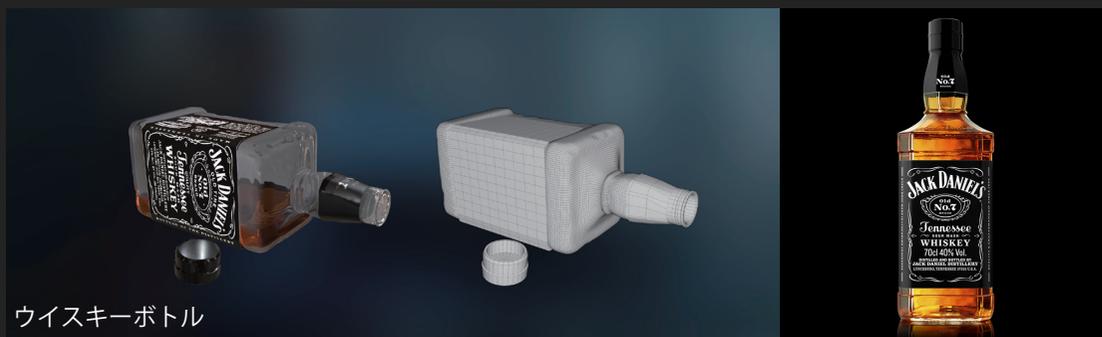
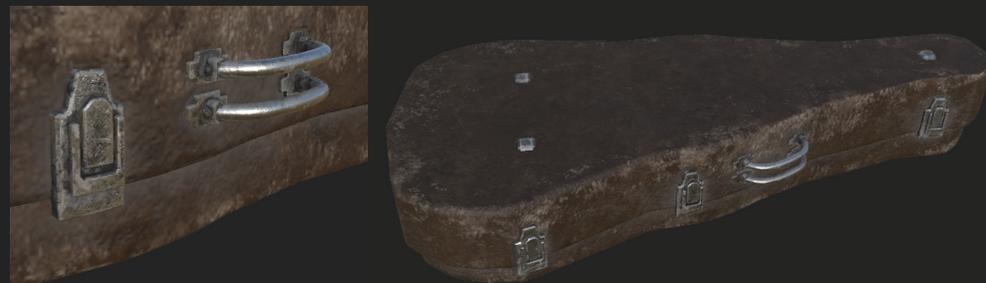
アセット



ギターケース

古い革製のハードケースは角の部分が削れて色が変わってしまっている部分があるためリファレンスを基に大まかな形を作った後に家にあった古いギターケースを参考に汚れを加えました。また金属の部分に錆びを加えることでリアルさを出しました。

角が摩擦で削れた表現



ウイスキーボトル

ウイスキーボトルは四角形の瓶のイメージが強かったため「Jack Daniels」を作りました。瓶の角に少しだけ Zbrush で凹凸をつけて ガラスの屈折をまばらにしました。



スケートボード



摩擦による擦れ

塗装の剥げ

Another Design

- グラフィックデザイン
- スナップショット
- デッサン





『Down』

フォトパッシュの授業内で作成した一枚画です。
使用した素材はとても広角で下に続いているような世界観に見えたため
奥がどこまで続いているのかわからないような不気味な雰囲気仕上げました。

私は連続的に続いて先が見えなくなっているような背景が好きなので、
フォグを入れたり鉄骨を追加しました。
また画像を探していたところ、ビルの屋上から飛び降りるような画像を見つけたため、
うまく組み合わせ地下へ降りると異世界に続いてしまうといったストーリーにしました。



元素材



もしも昔話が実写映画化したらどんなポスターになるのか、というテーマのもと作成しました。
左の画像は、『ハンゼルとグレーテル』をモチーフに物語に付随した画像を探し加工しました。
特にこだわったのは、草花の部分で一つずつパーツごとに配置するような作業で大変でしたが
楽しい作業でした。

右の画像は、『おおきなかぶ』をもとに作成しレトロなデザインに仕上げました。
タイトルの通りかぶがどうすれば大きく見えるのか配置に特に悩みましたが、結果子供たちの影を
うまく利用し大きく見せる工夫を施しました。



スナップショット



撮影期間 2021. 2 ~ 2022. 9 高校時代は、母親のカメラを借りて約二年間いろいろな場所に行き写真を撮りました。Photoshop の知識もこの経験でつきました。

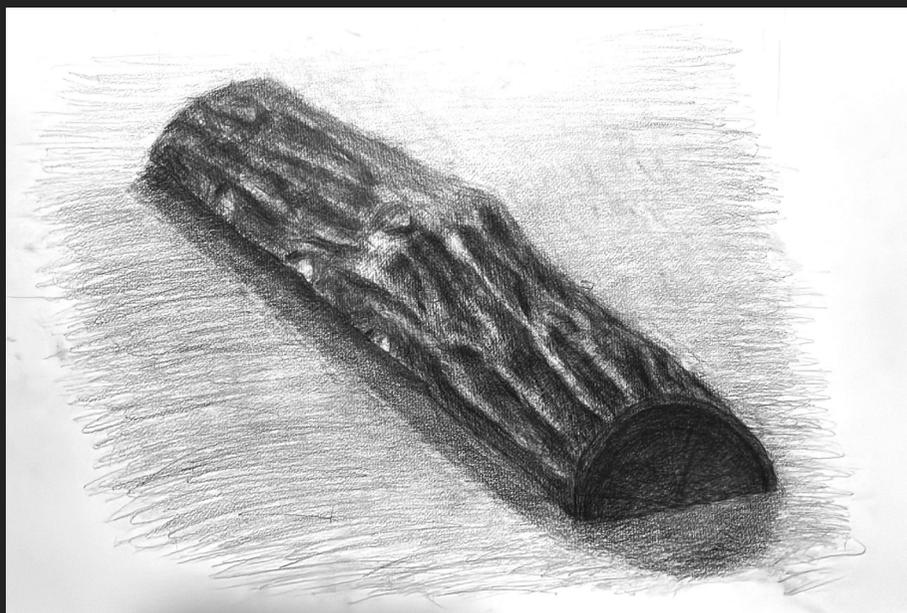
撮影機材 Nikon D610 当時はコロナ禍だったため何もできずやるせない時間が増え、そういったフラストレーションを写真を撮ることで発散していました。

普段、何も考えず通っていたような通学路にも目を向けてみるとまた違った世界が見えたりと写真を撮ることで光の大切さを知ったり観察力がつきました。

デッサン

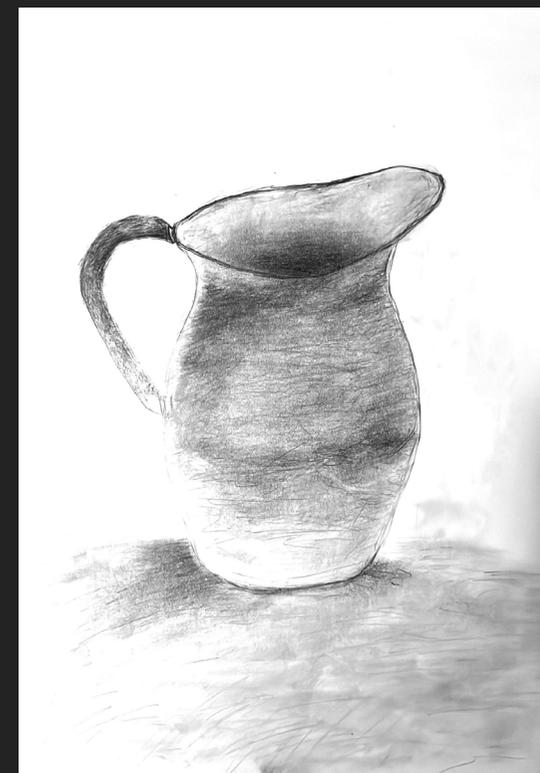
テーマ 『木材』

制作期間 8時間



テーマ 『水差し』

制作期間 8時間



テーマ 『ワインボトル』

制作期間 8時間



Thank you!!